

(敬称略)

## 2018年度、時事問題市民学習会報告書

財団からのご指導に鑑み、今年度からは、テーマをいくつかのグループに分けて、このグループ毎に学習を深めるように学習会を展開する。

### I. 実施事業と参加者数

#### ■ ■ 1. 「憲法と人権」

第一回【1-1 「皇位継承とは何か。ーその本質と問題点を学ぶ」】

2018年5月18日 島藺 進 (上智大学神学部特任教授・グリーンケア研究所所長) — 参加者 18名

第二回【1-2 「沖縄の今ー辺野古、高江の現状」】

8月27日 金井 創 (沖縄、日本基督教団 佐敷教会牧師) — 参加者 16名

第三回【1-3 「憲法と国民投票の在り方ーその本質と問題点を学ぶ」】

10月26日 伊藤 真 (伊藤塾塾長) — 参加者 15名

#### ■ ■ 2. 安全保障とアジア

第四回 【「韓半島平和プロセスと東アジア秩序の転換」】

11月15日 李 起豪 (韓神大学大学院教授) — 参加者 10名

第五回【2-2 「日米(核)同盟ー原爆、核の傘、フクシマ」】

12月19日 太田昌克 (共同通信社編集委員) — 参加者 15名

#### ■ ■ 3. 緊急テーマ

第六回 【3-1「在日韓国・朝鮮人の歴史と民族差別の現実ーヘイトスピーチとは何か。」】

2019年1月29日 山田貴夫 (『「ヘイトスピーチを許さない」かわさき市民ネットワーク」事務局) — 参加者 17名

第七回【3-2 「沖縄の現状と今後ー県民投票を踏まえて」】

2018年02月28日 前泊博盛 (沖縄国際大学大学・大学院教授) — 参加者 18名

参加者数ー延べ 109名 (平均 15.6名/回)

## II. 収支報告 (円)

a. 収入	— 助成金 (庭野平和財団より)	440,000	
	資料代 (参加者より 500 円/人)	54,500	
	繰越(2017年度より)	73,656	
		<hr/>	(計) 568,156
b. 支出	— 講師謝礼 (7名)	245,000	
	本年度および次年度テーマの策定(2名)	70,000	
	会場費 (7回)	189,000	
	資料作成費	5,000	
	茶代 (7回)	17,226	
	ボランティア夕食 (1回)	41,930	
		<hr/>	(計) 568,156
c. 収支差額			0

### 3. 感想

- a. テーマをグループごとに分けたことは、運営側として、学習会の指針をたてやすくなったが、テーマによっては、はっきりと区分することが難しいこともあった。
- b. 講師について：講師により話し方、資料の作り方に上手下手があったが、できるだけこちらのお願いを明確にして、レジユメの作り方(例、「A-4 2-3枚で、できるだけ講演の流れがわかるもの。また、強調したい資料などはレジユメに明確に記載してください。」など)。パワポの資料のみで、流さないようにしていただいた。
- c. 参加者がほとんど固定してしまい、当初予定したようなこの学習会開催が、参加者からその関係者へと拡散されることがない傾向は、本年度も続いている。
- d. 主たる参加者は、立正佼成会、新宗連、WCRP関係者、NCC関係者がほぼ92%を占めた。

世話人代表 畠山 友利